平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	環境情報学特別研究			授業コード	M521603
担当教員名	西村　謙司			科目ナンバリングコード	R40403
配当学年	1・2	開講期	通年		
必修・選択区分	必修	単位数	10		
履修上の注意または履修条件	大学院における研究活動の集大成をなす授業です。進行しつつある研究活動を踏まえ、修士論文を作成するために必要な内容の授業となります。				
受講心得	文献調査、フィールドワーク調査を踏まえ、それらを体系的にまとめるとともに、論文として、再構築していくプロセスの指導を行います。すべての調査が結果に結びつくわけではなく、試行錯誤の繰り返しによって論文がまとまってくるという経験を身をもって実践することが重要だと考えています。				
教科書	適宜、資料を配布します。				
参考文献及び指定図書	日本建築学会計画系論文集、日本建築学会九州支部 研究報告、日本建築学会学術講演梗概集				
関連科目	建築設計特論A、B　環境情報学特別演習				

授業の目的	大学院を卒業するための要件としての修士論文の作成に必要な知識を深く学ぶことを目的とします。
授業の概要	学生が行う調査・実習・文献検索・グループ討議等に参画し，適切な助言・指導を行います。さらに，学生が行う文献講読・研究テーマの設定方法・アイデア・課題解決・分析・研究結果・レポート作成・口頭発表などに際して，特別研究の価値を高めるための指導を行います。 内容が多岐にわたると同時に，研究の進捗状況に合わせて上記項目を進めていくため，個々の学生の研究内容によって授業内容や方針が異なります。そのため、以下の「授業計画」を記入は省略します。個々の学生の研究進捗状況に応じて適宜、状況に合わせて授業を行います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	研究調査、報告書の作成 (10h以上)
第 2 週 ： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	研究調査、報告書の作成 (10h以上)
第 3 週 ： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	研究調査、報告書の作成 (10h以上)
第 4 週 ： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	研究調査、報告書の作成 (10h以上)
第 5 週 ： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	研究調査、報告書の作成 (10h以上)
第 6 週 ： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	研究調査、報告書の作成 (10h以上)

第 7 週 ： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	**研究調査、報告書の作成** （10h以上）
第 8 週 ： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	**研究調査、報告書の作成** （10h以上）
第 9 週 ： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	**研究調査、報告書の作成** （10h以上）
第10週： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	**研究調査、報告書の作成** （10h以上）
第11週： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	**研究調査、報告書の作成** （10h以上）
第12週： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	**研究調査、報告書の作成** （10h以上）
第13週： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	**研究調査、報告書の作成** （10h以上）
第14週： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	**研究調査、報告書の作成** （10h以上）
第15週： 研究調査、報告、改善 対話形式やゼミ形式で実施し、各自の研究課題の進捗に合わせて、研究内容を報告発表する。その報告に対して、アドバイス、指導を行います。また、研究対象のある地域における建築物内での調査を行います。	**研究調査、報告書の作成** （10h以上）
第16週： 研究調査、報告、改善	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	主体的に研究を遂行する。
【知識・理解】	学会で研究発表を行い、質疑応答に適切に応えることができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	聴講者に対して、適切な資料準備，発表ができる。 研究室のグループワークをマネージメントできる。
【思考・判断・創造】	実現が困難なことに対して粘り強く対応できる。 研究活動全般に対して，異なる視点から判断，微調整することができる。

〇成績評価基準（合計100点）	合計欄	100点

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**10点**	**10点**
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**10点**	**10点**
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**10点**	**10点**
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**20点**	**20点**

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	